

**学校名** 小鹿野町立三田川中学校  
**所在地** 小鹿野町飯田323  
**電話** 0494-75-2220

## 1 本校の概要

本校は学校創立41年目をむかえた学校だが、今年度末をもって閉校が決定している。学級数4、全校生徒34名の小規模校である。素直で穏やかな生徒が多く、「礎を固め、未来に伸びる生徒」という学校教育目標実現のために、小規模だからこそできる特色ある教育を行っている。

## 2 本校の実践

### (1) 実践の視点

- ・ 図書館整理員の活用と環境整備の工夫

### (2) 実践の概要

本校では、「進んで読書し、深く考える生徒」の育成を目指し、以下の取組を行っている。

#### ア 図書室掲示

図書室に入りたくなるように、廊下の天井に入り口看板を設営している、又、図書室内には季節に合った切り絵やポップなどを掲示している。

#### イ 私の本棚



自分が読んだ本の題と作者を、色画用紙に書き、「私の本棚」という台紙に貼り付ける。台紙を図書室前に貼ることで、図書室に足を運ぶ機会を増やしている。



#### ウ 長期間貸出し

長期間貸出しで本を借りた生徒には、図書整理員による手作りカバーやしおりをプレゼントした。



#### エ 国会図書館と町立図書館の活用

国会図書館や町立図書館から、授業等で使用する本を借り、定期的にテーマを決めて陳列を行っている。又、国語の授業で生徒が作成した本のPOPを町立図書館に掲示してもらった。



#### オ 授業との連携

「図書室を活性化するために」をテーマに国語の授業で話し合い活動を行った。「リラックス空間の設置」や、「明るい図書室」といった意見を実現するために、畳の設置や机とイスの整理を行った。



#### カ 朝会での校長講話との連動

校長講話の内容と関連する本を、図書館整理員が、その日のうちに廊下に陳列している。



#### キ 学校研究課題との連動

進路指導・キャリア教育の学校研究の一環として、生徒の憩いの場である生徒ホールに本を設置して、生徒の夢や希望実現にむけて支援している。



## 3 成果と今後の課題

### (1) 成果

ア 図書整理員との密接な連携により、図書室利用があまりなかった生徒たちが、図書室に訪れるようになり、貸出し率が増えた。

イ 図書室を活用した授業の中で、自ら資料を探し課題に取り組むことができるようになった。

### (2) 課題

統合後の学校でも、図書整理員を有効に活用して生徒の豊かな読書活動を充実させる。